



手城小だより

福山市立手城小学校
2025年(令和7年)
1月20日(月)

【学校教育目標】 自他を認め合い、主体的に生きる力をもった児童の育成

手城とんど祭り 一年の無病息災願う

1月19日(日)に、無病息災を願って「手城学区とんど祭り」が行われました。小学校の運動場では、竹やわらなどで組み立てられたやぐらに、正月飾りや書き初めなどが巻き付けられ、手城小学校和太鼓クラブの子供たちが今年1年の無病息災を願って演奏した後、とんどに火がつけられました。風がなく穏やかな天気のもと、勢いよく燃え上がり、集まった子供たちや地域の方々が燃え盛るとんどの様子を見守りました。

このあと、食べると病気にかからないという言い伝えがあるとんどの残り火で餅を焼き、味わいました。



商店街の練り歩き



3年生子どもとんどの練り歩き



オープニング 太鼓クラブ



パチパチと音を立てて勢いよく燃える迫力ある「とんど」
3年生作成子供とんど(左)・学区のとんど(右)



残り火で竹先につけた餅を焼く

みんなで考えるお金と保険の話 ～使う・貯める・備える～

1月16日(木)明治安田生命福山支社福山営業所の営業所長、佐川貴紀様を講師としてお招きして、4・5・6年生が「お金」や「保険」に関する学習を行いました。「欲しいものがあったら、どうする?いつ買う?」と計画的な金銭管理について考えたり、「ゲームの課金、本当にしていいのかな?」と課金について考えたり、「リスクの中で生きるにはどうしたらいいか」考えたりしました。リスクと保険について、事例やクイズなどで、「使う・貯める・備える」ことについて学びました。



4・5・6年生の感想

- ・お金はたくさんためてほしいものを買った方がいいと思いました。
- ・ぼくはこれまでお金をもらったらすぐ使って必要ではないものを買ってきて後悔していました。でも、今日、学習して買い物は「必要なもの」と「欲しいもの」とで分けて考えたり、いつ、何のために使うのかよく考えて使わないといけないと思いました。
- ・今までは、使う金額を決めていなかったけど、これからは使う金額を決めて使おうと思った。
- ・買ってほしいものがあったら、親にわがままをいっていたけど、これからは我慢しようと思う。
- ・欲しいものは買っていたけど、すぐを買うんじゃなくて、本当にいるのか、確認したり、お年玉もお母さんが頑張って働いてくれているので、大切にしたい。
- ・課金をするときに、親とルールを決めてからしたいと思いました。ペイペイやクレジットカード、図書カードなどはお金が減ったり増えたりしているけれど、その感覚がないから気を付けて使わないといけないと分かりました。保険はみんなからお金を集めて、入院などをしたらその人にお金をあげるといふ、いざという時に備えることだと知ることができました。
- ・今までは保険は自分には関係ないと思っていたけど、お話を聞いて保険はいろいろな種類があり自分にとっても身近だと思いました。課金は目に見えない間にお金が減っていくから、お金を大事にして困らないようにしたいです。
- ・何かが起きたときは保険があると心強いなと思いました。
- ・保険に加入したら、自分だけのお金が返ってくるんだと思っていたけど、加入者全員で出し合うと初めて知った。電子マネーでは、お金を使った実感がないので使うたびに残高を確認しようと思った、
- ・私はけがをしたときに、保険がでました。保険は知っていたけど、なぜするのか内容がよくわからなかったけど、今日分かりました。
- ・修学旅行に行った時に、旅行代金だけでなく、その中には、万が一に備えて保険代も入っていたことが分かりました。身近だと思いました。